

「ラグビーワールドカップ2019™」ファンゾーンにおける 一都三県の日本酒プロモーションイベントの開催状況



東京国税局は、ラグビーワールドカップ大会期間中の令和元年10月26日（土）、10月27日（日）、11月1日（金）及び11月2日（土）の4日間、横浜市の臨港パークに設置されたファンゾーンの地元・出場国PRエリアに、日本酒のプロモーションブースを出展し、海外のラグビーファンを中心とした来場者（延べ3,220人）に対して、神奈川県、千葉県、東京都及び山梨県の日本酒の魅力をPRしました。

東京国税局管内の蔵元の日本酒25銘柄の試飲会を実施しましたが、ブースには多くの外国人が訪れ（35カ国、延べ750人）、英語を話せるスタッフから、それぞれの銘柄の特徴の説明を受けながら日本酒を味わっていました。

試飲した外国人にアンケートを行ったところ、90%を超える外国人が「試飲した日本酒が美味しい」と回答。また、普段飲んでいるお酒は「ビール、ワイン、ウイスキー」と回答した外国人が多い中で、ほぼ全ての外国人が「家族や友人にも日本酒を勧めてみたい」との回答がありました。

試飲した外国人からは「日本酒がこんなに美味しいとは知らなかった」「自国で、こんなに美味しい日本酒を飲んだことがない」「フルーティーで飲みやすかった」「我が国でも販売してもらいたい」などの感想が聞かれました。

※ ブース設置期間中（4日間）に、横浜ファンゾーンの入場者数は延べ47,200名。



【パブリックビューイングの様子】



【ファンゾーンの様子】



【試飲ブースの様子】



【英語による説明の様子】



【「MissSAKE」との記念撮影】